

オーストリア・フェルトキルヒ・カージナルスで監督兼選手を務める田久保賢植監督からメッセージが届いています！！

・田久保賢植監督のコメント

『今シーズンは7カ国目のチームとなるオーストリアのフェルトキルヒ・カージナルスというチームで監督兼選手をさせていただきました。そしてクラブに属するU10,U13,U15,Senior,Topの5チームすべてを統括する立場として、ほぼ毎日グラウンドにいました。昨年アメリカでのシーズンを終えて、様々なヨーロッパのクラブからオファーをいただきました。選手として契約という話もあれば、同じように監督兼任でという話も頂きました。

ただ、その中でもこのチームに決めた最大の理由としては、クラブの育成システムづくりやクラブ運営に協力してほしいという事を求められたからです。今後の自分のキャリアを考えた時に、すごくこれが大切な仕事になると感じたし、やりがいがあると感じたからです。始まってみれば、言葉はドイツ語でお互い第2言語の英語同士でのコミュニケーション。日本ではメジャーな野球自体もここではマイナースポーツです。TV中継もないので、小さな子供の中にはそもそもバットの持ち方やグローブ使い方もわからない子もいます。

もちろん、そういう子達がいるからこそ自分がいるわけで、それでも野球に興味を持ってグラウンドに来てくれた気持ちだけで、ありがとうと抱きしめてあげたくな

りますね(笑)そんな中で、今回はクラブだけではなく U21 代表チームのコーチとしても経験をさせてもらいました。オーストリア代表の一員としてユニフォームを着てグラウンドに立たせてもらい、その他のヨーロッパの国の野球もグラウンドレベルで真剣勝負の中で見ることができました。

今年はこれまでと少し違った立場でまた野球に関わることができました。シーズンはすでに終了して、オフの期間に目的に沿った様々な練習メニューを選手やコーチングスタッフと一緒にやりながら伝えています。クラブの発展の為にも残りの時間を大切に過ごしていきたいと思っています。』

BMI と共に歩んできた彼も選手と監督をやりながらクラブ運営までを海外のクラブでやるほどに成長しました。新しいことにチャレンジしていく彼の姿勢を、これからも全力でサポートしていきます！！

